

ポスターセッションに関する規定について

2018年7月20日

第14回全日本民医連看護介護活動研究交流集会運営委員会

連日の奮闘に心より敬意を表します。

このたびは、第14回看護介護活動研究交流集会 in 宮城への演題のご応募ありがとうございました。当日の運営を円滑に進めるために、以下の内容をご確認いただき、ご準備をよろしく申し上げます。

1. ポスターセッションとは

看介研でポスターセッションを取り入れるのは今回が9回目です。ポスターセッションは、発表内容をポスター形式にまとめ、展示・発表するものです。各学会でも好評で、発表形式として採用する学会も増えてきています。看介研でもこのポスターセッションを口演と同様に位置づけ、重視しています。

ポスターセッションには以下のような利点があります。

- ① 展示期間中、参加者は自由にポスターを見ることができる。
- ② そのため、ギャラリーがあらかじめ質問を準備し、発表を聞いた後、あらためて見ることができる。
- ③ ポスターを前に、ギャラリーと発表者という少人数で直接、質疑応答ができる。

2. ポスター作成について

(1) ポスターの大きさ と 掲示

所定の範囲内であれば、自由な形での使用を可とします。

掲示可能なスペースは、縦1500mm×横1200mmです。

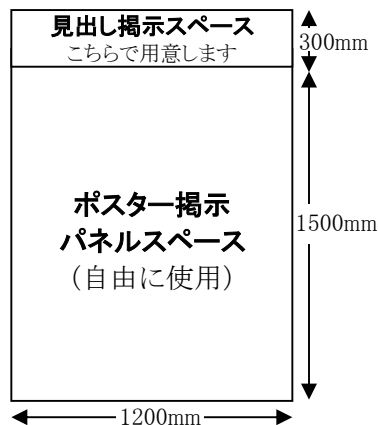
上部の縦300mmを見出し掲示スペースとして使用します。見出しは全日本民医連で準備します。

見出しには【演題番号・県連・事業所・発表者名・演題名】を表示します。

下に記したポスター掲示パネルスペースに収まる程度の大きさであれば、文章・グラフ・写真・絵などを使用して自由にレイアウトを行えます。

下記、展示パネル写真、パネル使用例をご参照下さい

《パネル使用例》



参考

< 模造紙の寸法 >
縦1091mm. × 横788mm.

< A4用紙1枚の寸法 >
縦210mm. × 横297mm.
(横長使用)

※展示パネルの下部 300mm は膝下の位置になります。

(2) 作成のポイント

- ①主張を明確にする。(調査の結論や発表者の意見がはっきりわかる)
- ②発表内容は起承転結を明確にし、研究(発表)の目的・方法・結果・考察などに分け、小見出しをつける。
(例)【目的】【方法】【結果】【考察】など
- ④簡潔に表現する。(限られたスペース内におさめ、発表者がいなくても見ればわかる)
- ⑤図表・写真を使用するなど視覚にアピールする。
- ⑥見やすいものをつくる。
 - ・文字:1文字は1センチ以上の大きさ、強調する部分は太字などを活用。
 - ・図表:離れて見てわかるよう大きく太い線で。写真はハガキ大以上のものを使用するなど。
 - ・レイアウト:文字、図表の工夫した配置を意識する。
- ⑦掲示物に関しては、説明者がいない時にも参加者が読んで理解できることが望ましい。
- ⑧掲示物の文字は、できるかぎりパソコンや印刷で作成し、大きさは30ポイント以上が望ましい。
* フォントは見やすいものであればよく、特に規定はありません。

3. ポスターセッションの運営について

(1) ポスターの貼り出しについて

展示・撤去は発表者自身でお願いします。貼り出す場所は当日ご案内します。

貼り出しは9月30日(日)8:15~9:00 にお願ひします。貼り付けは画鋏でお願いします(テープ不可)。画鋏は一定数、事務局で用意します。

(2) 撤去について

撤去時間は、10月1日(月)12:00~13:00です。必ずこの時間帯に責任を持って撤去をお願いします。看介研開催中の撤去は禁止です。

* 民医連表彰の推薦を受けたポスターについては、撤去せずそのまま事務局にてお預かりいたしますのでご了承ください。

(3) 発表順・発表・討論時間

- ・各ポスターの展示会場や発表順などの詳細は、『プログラム・抄録集』(各県連へ9月上旬頃発送予定)をご参照ください。
- ・1演題につき、発表時間は5分です。一コマ(60分)で6~7演題のポスター発表を行います。予定された演題の発表が全て終了した後に、各ポスターの前で質疑応答の時間となります。発表者は、割り当てられた時間内は、ポスターの前で質疑応答に対応してください。
- ・運営の都合上、若干時間を変更する場合があります。

以上

(問い合わせ先)

全日本民主医療機関連合会 職員育成部 片山輝彦、宮川喜与美
所在地:東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階
TEL:03-5842-6451
FAX:03-5842-6460
e-mail: min-ikusei@min-iren.gr.jp